

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2025年 7 月 22 日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
滋賀県栗東市下鉤140-1

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
日清食品株式会社 滋賀工場
岩井 章

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項→第25条第4項
第27条第1項→第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定(変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	日清食品株式会社 安藤徳隆
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	大阪市淀川区西中島 4丁目1-1

1 事業所の概要

事業所の名称	日清食品株式会社 滋賀工場					
事業所の所在地	滋賀県栗東市下鉤140-1					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	0	9	9	2	※ 産業分類・細分類名称を記載 即席ライス・具材製造
事業の概要	即席めん・具材製造					
従業員の数	265	人	操業時間	18	時間/日	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原簿換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者				
主要な設備	ボイラ	24	台	熱源設備		台
	コンプレッサ	18	台	空気調和設備	102	台
				照明設備	3097	台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	6	年度	報告対象年度	7	年度
	終了年度	9	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

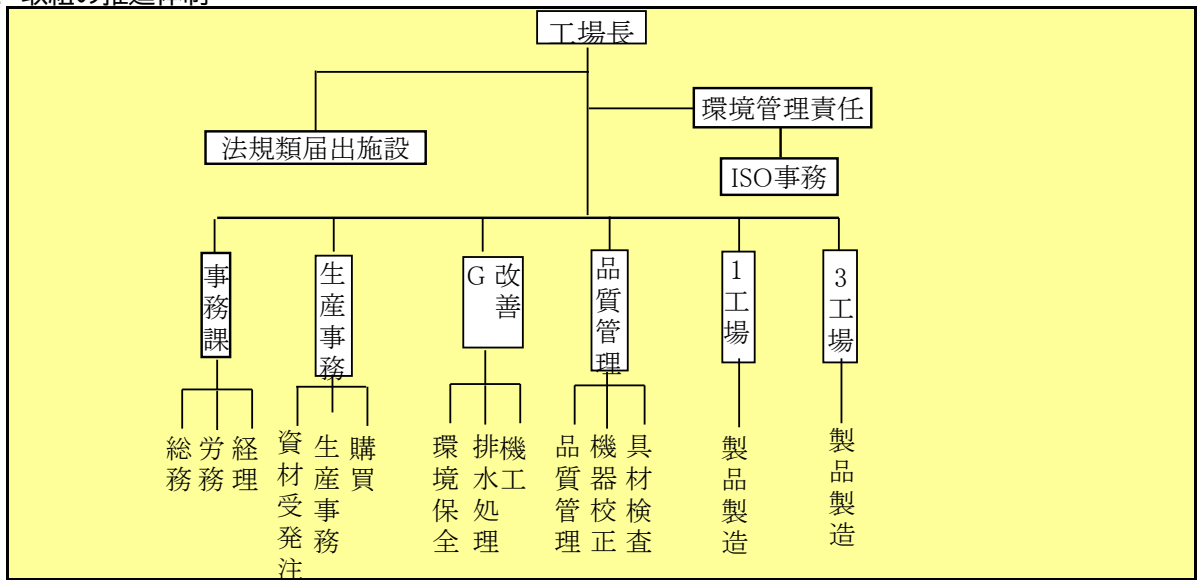
注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

・私達(日清食品グループ)は環境憲章に基づき、グループ全体で環境経営を推進する体制を構築しています。
 基本理念:日清食品グループは、社会との共生を図り、地球環境の改善に努める。
 1.世界の食文化の向上に貢献する為、人々の健康と安全を優先した商品の開発に努める。
 2.よき企業市民として、環境の保全と資源の節約に配慮した企業活動に取り組む。
 3.株主・消費者・取引先・地域社会のステークホルガーに対して、情報の開示に努め、誠実で透明性の高い企業理念を育成する。

行動方針
 1.環境関係法令・規制・協定及び適用されるべき国際基準を遵守する。海外活動においても、当事国における環境保全に十分配慮する。
 2.原材料の調達から生産・流通・消費・廃棄に至るまで各段階での環境への影響を事前に評価し環境に配慮した商品開発を行う。
 3.商品に使用する原材料・添加物・容器包装資材等は、人の健康と安全を守ることを優先する。
 4.廃棄物の減量化とリサイクルに努め、資源とエネルギーを節約する。
 5.環境保全を推進するため社内体制を整え、意識の高揚と啓発活動を積極的に進める。
 6.企業市民として地域社会との共生に努め、社外の環境保全活動に協力する。又、社員の自主的な活動も積極的に支援する。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

ボイラー送気システム・コンプレッサー台数制御は継続して省エネ対策を維持。現在生産縮小にあり不要な電力消費を抑える為、LED照明の不要な箇所については、撤去及び作業しない場所においては消灯。また生産開始前の待機電力削減への取組、水使用量の削減・ペーパーレス化を行いCO₂削減への取組を実施している。

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

取組項目	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1 運用改善	生産設備予防保全の強化	令和6年度～令和9年度	稼働前に工場内の巡回を行い不具合箇所が無いかをチェックする
2 運用改善	高効率ボイラーに更新(5台)	令和7年度	今年度5月に5台のボイラーを高効率ボイラーに更新
3 運用改善	ペーパーレス化の促進	令和6年度～令和9年度	会議資料・日報類を電子化
4 運用改善	アイドリングストップ推進	令和6年度～令和9年度	敷地内入場の際守衛にて、アイドリングストップのお願いと、運転手様用休憩室を設置
5 運用改善	生産前の待機電力削減	令和6年度～令和9年度	一部の工程で、製品が流れてくるまでの消費電力の削減(稼働準備で、一旦動作はさせるが、5分間に停止・製品が流れてくるまでは、待機状態)

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	水使用量の削減	令和6年度～令和9年度	前年度実績より3%減を目標に取り組み
2	コンプレッサエアの削減	令和7年～令和9年	プロジェクトチームを立ち上げます。まずは現状把握より始めて、無駄なエアの
3			

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
生産機器の予防保全を実施し、ロス及びダウンタイムの削減を行う。ボイラーは高効率の機種を導入し、CO ₂ 排出量削減を2025年5月に実施。ペーパーレス化は、前年に引き続き継続と更に削減できるよう取り組みます。アイドリングストップについても、引き続き継続。生産前待機電力削減については、2026年度に向けて計画。省エネ対策を目標3件/年を目標に取り組みで参ります	ペーパーレス化は、昨年度より更に進めていきます。アイドリングストップも引き続き継続中。生産前待機電力削減については、実施までの準備が計画通り進行しています。ボイラー更新については、今年5月に入れ替え工事が完了。今期より、コンプレッサエア使用量削減に取り組んで行きます。

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
		(2024)年度	()年度	()年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー使用量	kL	5,228	5,270			
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	5,228	5,720			
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	5,228	5,720			
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂					
CH ₄	t-CO ₂					
N ₂ O	t-CO ₂					
HFCs	t-CO ₂					
PFCs	t-CO ₂					
SF ₆	t-CO ₂					
NF ₃	t-CO ₂					
エネルギー等原単位の推移		16.340				

備考 「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告					
			(2020)年度	(2021)年度	(2022)年度	(2023)年度	()年度	
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂							
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂							
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh							
特記事項								

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告					
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度	
グリーン証書の購 入	t-CO ₂							
クレジットの購入	t-CO ₂							
特記事項								

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	計画開始年度 前年度の 保有台数	実績報告						
		(2023)年度	(2024)年度	()年度	()年度	()年度		
保有車輛の数	台	3	1	1				
上記のうち 次世代自動車等の 数	台	1	1	1				
特記事項								

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	SDGs	水使用量削減	毎年	前年度対3%の削減 を目標
2				
3				
4				
5				